

SAJ

サバァイ通信

公益財団法人 School Aid Japan コミュニケーション誌
サバァイは「幸福」を意味するクメール語です

Vol.18

2020.2 月号

みなさまのご支援のおかげです

活動20周年 学校建設300校!



300 校目「ターソウ小学校」の贈呈式

NPO 法人からスタートした SAJ の活動は、皆さまの温かいご支援に支えられ 20 周年を迎えました。カンボジアでの活動範囲も広がり、ヘム・サムリン上院議長はじめ、各省庁の大臣や長官からも SAJ の活動に高い評価をいただいております。記念すべき第 300 校「ターソウ小学校」の贈呈式が 1 月 24 日カンボジア・スヴァイリエン州で盛大に行われました。カンボジア・コンボンチュナン州に建設した第 1 校「トモケオ小学校」は現在も子どもたちの笑顔が溢れています。これからも支援者の皆さまの思いを現地にお届けするために努力して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



300 校目「ターソウ小学校」の贈呈式

皆様からの会費・寄附は「1円残らず現地に届ける」ことを基本方針として活動しています。

会費

会員会費(年額) 1口 12,000円
法人会費(年額) 1口 120,000円

一般寄附

用途は指定しないで
金額も自由な寄附

指定寄附 (使い道を指定する寄附)

- 学校建設寄附(1) 一口寄附(一口 100,000円)、(2) 一棟寄附
- ふれあいサポートプラン(一口 12,000円から)
- 食の支援寄附(金額自由)
- 孤児院運営寄附(金額自由)
- 孤児院運営会費(12,000円/月)
- 孤児院里親会費(12,000円/月)
- 奨学金寄附(金額自由)
- 学校運営寄附(バングラデシュ)(金額自由)

詳細はSAJ事務局までお問い合わせください。

支援活動のご報告 (指定寄附別) 支援者様から頂いた寄附が、どのような活動に繋がっているのかご紹介いたします！

学校建設寄附

クパールダムライ幼稚園 贈呈式

2019年12月6日、株式会社フジプラン様のご支援によって建設された「クパールダムライ幼稚園」の贈呈式が、カンボジアクボンクモン州で行われました。
贈呈式終了後、フジプラン様は以前寄附されたセエライ・モンコール小学校へも訪問し、子どもたちと交流をされました。



クパールダムライ幼稚園贈呈式

ターソウ小学校 贈呈式

2020年1月24日、ダイソー(株式会社大創産業)様のご支援によって建設された「ターソウ小学校」の贈呈式がスワイリアン州にて行われました。カンボジアの上院議長、副首相、社会福祉大臣や国会議員の方々も来られ近隣の村民や児童など2,000人以上の人々が集まり盛大な贈呈式でした。(表紙写真)



ターソウ小学校



ヘム・サムリン上院議長と渡邉代表理事

孤児院運営支援

子どもの退園

タツ 3兄弟が退園となりました。彼らは両親が離婚し、どちらも出稼ぎにタイへ行ってしまったため、祖母が面倒をみていました。祖母が高齢で面倒をみるのが難しいという理由で就学時に兄弟順番で入園していました。
父親が子どもたちを引き取りたいと申し出てきたため、本人たちと何度も話し合いました。家に帰り父親と生活する意思が強く、経済的な状況も問題ないと判断したため、退園となりました。(副園長 柚木)



退園：左からピセット、モイ、ポ

学校運営支援【NDMSC】

夢の日 2019

年に1度の「バングラデシュ校 夢の日」。生徒たちにとって、1年間を振り返るとともに、新たな年の始まりの日となります。子どもたちは自らの「夢」と次の1年間の目標を記入し、この日から夢に向かって再スタートします。
全校生徒に夢について考える機会を与えるために、夢に関係する劇を実施したり、生徒の中で今年一番夢に向かって努力したMVD(Most Valuable Dreamer)を表彰しました。
各自が決めた2020年の目標を達成するために、明日から努力していきます。(校長 古澤)



NDMSC 夢に関する劇

インターネットでの寄附が、
便利になりました。

SAJのホームページから寄附していただく
ことができます。寄附の種類も選べます。

<https://ssl.schoolaidjapan.or.jp/kifu/>

こちらから



会費・寄附金のお振込み

●郵便局：00140-5-345903

●三井住友銀行：蒲田支店(普) 4353626 口座名：公益財団法人 School Aid Japan

※郵便局払込用紙をご希望の方はSAJ事務局までご連絡ください。

※領収書をお送りいたしますので、初めてお振込みされる際は送付先のご住所をEメールまたは電話にてご連絡ください。

寄附金の優遇税制

SAJは内閣総理大臣の認定を受けた公益財団法人です。そのため、会費や寄附金は、税制上の優遇処置を受けることができます。詳しくはお問い合わせください。

SAJ は、すべての理事で構成され業務に関する決定を行う理事会と最高議決機関である評議員会が毎月開催されています。

《構成メンバー》

- 代表理事：渡邊美樹
- 理事：鳥井親一、清水和雄、武長彩子、高橋亮（新任）
- 業務執行理事：青木茂雄
- 評議員：大江光正、清水邦晃、佐藤誠、戸澤昌夫（新任）、大城慶正、白柳直美
- 監事：片山進平、小田剛志

第 200 回理事評議員会が 12 月 24 日に行われました。

議案 1：奨学金貸与規定の変更に関する検討と報告

奨学金貸与規定資料に基づき説明がされる。子どもたちに不公平感がでてしまうのではないかと理事よりご意見あり。孤児院在園生に対する奨学金貸与基準はそのまま維持とする。SAJ の年間予算に組み込み給付とするか、改めて奨学金支援者様を募るのか、また貸与分関して連帯責任の返済義務を設けること等、詳細に関して次月改めて報告となりました。

議案 2：プノンペン事務所でのスタッフ採用に関する検討と承認

プノンペン事務所の現状、スタッフ採用に関して資料に基づき説明がされ、承認をいただきました。

議案 3：孤児院での日本語教育に関する検討と承認

孤児院での日本語教育に関して資料に基づき説明がされ、承認をいただきました。

SAJ Farm



SAJ ファームは、孤児院の子どもや、将来的には農業を志すカンボジアの若者に技術を習得させるための実習場（農場）として、2010 年にスタートさせた就労支援事業です。

乾季到来

2020 年になり、カンボジアでは本格的な乾季に入りました。SAJ ファームでは雨が 12 月から 1 カ月以上降っていません。毎年この乾季の 4 カ月間は、ファーム内にある溜池の水 10 万 k リットル以上を、レモングラスの圃場に灌水し続けます。灌水後には土中の水分が蒸発するのを防ぐため、稲刈り後の稲ワラをレモングラスの畝間に敷き詰めます。

今年は 7 月近くまで雨が少ないと予報されています。昨年の降雨も少なく、現在畑の土は乾いているため、レモングラスが枯れてしまわないかと心配しています。これから、早く雨が降ってくれることを天に祈る日々が続きます。（農場長 酒井）



レモングラス畑に稲ワラを敷き詰める



乾季に必須となる溜池

レモングラスを使った 石けん開発！！



2010 年の SAJ ファーム開設以来、多くの関係者の努力により、有機レモングラスの栽培、その後、自分たちでエッセンシャルオイルを抽出するところまで辿り着きました。しかし、カンボジアではオイルの販売が困難でした。

2018 年に、石鹸にオイルを入れ販売する案が生まれました。石鹸の商品開発を始め、早 2 年。様々な試行錯誤（コールドプロセス、窯炊き製法など）を繰り返し、観光客向けのお土産として石鹸を開発することができました。

日本では、石鹸作りに必要な材料、器具などは容易に手に入れることができます。しかしカンボジアでは、それらを探すところから始まります。市場では、物が乱雑に置いてあり、多くの人でごった返し、目当ての物を探しだすのは一苦労です。「ようやく見つけた！」と思っても偽物だったこともよくありました。そんな中、最良の方法を模索し現在の製造方法にいたりました。

現在はアンコールワットシルエットの石鹸のみですが、今後多くの種類・デザインの石鹸を開発していきます。目標は、カンボジア発の世界で売れる石鹸会社です！！今後も、応援のほどよろしくお願いいたします。



商品開発中の酒井農場長



試作商品は、50 種類つくりました！



オイルと試作商品

Congratulations

孤児院職員の結婚式！



「夢追う子どもたちの家」の現地職員の結婚式が行われました。卒園した子どもたちや、以前働いていた現地職員、そして日本人職員も参加して賑やかな結婚式でした。懐かしい顔ぶれが大勢集まり同窓会のように楽しんでいました。末永く幸せに過ごして欲しいと思います！！

（副園長 柚木）

代表理事メッセージ

オークンチュラン

代表理事 渡邊美樹

2020年1月24日、カンボジアの首都プノンペンのホテルを、まだ夜も明けない早朝に出発しました。SAJの記念すべき学校建設300校目となるターソウ小学校新校舎の贈呈式に参加するためです。SAJカンボジア教育支援ツアーに参加された14名の支援者様と共に、パトカーに先導され、東へ。2時間半でスヴァイリエン州ターソウ村に到着しました。道の右側はベトナム国境で、いたるところに国境警備隊が警備しています。

贈呈式が行われる小学校には、すでに2,100人の子どもたち、保護者、村民が集まっていました。TV局や新聞社も多数来ていました。SAJの20年間の歴史の中で、もっとも盛大な贈呈式でした。その理由は、この地域がカンボジア政界No.2の

ヘム・サムリン上院議長のお膝元だからです。贈呈式には、上院議長はじめ、副首相、社会福祉大臣、州知事、地元のすべての国会議員、与党関係者など、地元の有力者が勢ぞろいしました。

ターソウ小学校の新校舎建設は、社会福祉大臣からの要望でした。私たちがカンボジアで運営する孤児院を管轄するのは社会福祉省です。ちょうど一年前、カンボジアの孤児政策の今後について社会福祉大臣と意見交換したときに、ターソウ小学校の校舎建設を依頼されたのです。

カンボジアは国全体としては経済成長著しいですが、貧富の差はむしろ拡大しています。トイレもない家に住み、雨水を煮沸して飲み水としているような家庭も少なくありません。本来、子どもたちの幸せを

誰よりも考えるべきなのは、当事国の政治家たちです。しかし、潤沢でない国の予算は、地方の村の教育現場まで十分には配分されません。私たちSAJの活動はまだまだ必要とされているのです。

次は400校、500校、そして1,000校に向けて活動してまいります。引き続き、皆様のご支援をお願い申し上げます。



支援者様メッセージ

株式会社オネスト 代表取締役 望月正恵様

私ども株式会社オネストがSAJとのご縁を頂いたのは、2012年だったように記憶しております。2008年に会社が本格的に稼働を始め、ようやく軌道に乗り始めたころでした。当時、社員の平均年齢は比較的若い社員が多く、社員みんなで情熱を持って取り組める社会貢献を模索していた時期でした。日本で生活していると豊かな衣食住は当たり前にありますし、何不自由なく便利な世の中に生きていますが、一步世界を見渡してみると日本とは正反対に食

べることすらままならない現実があります。せめて恵まれた環境をいただけている私たちが僅かばかりでもお裾分けやお手伝いできないかという想いから「5年を目標にカンボジアに学校を贈ろう」と支援活動が始まりました。

また、縁あって2016年からチャンダン君という男の子の里親になりました。チャンダン君を支援するというよりは、輝くような笑顔のチャンダン君からたくさんの元気をもらっているように思います。



里子チャンダンと望月様

ご支援いただいた寄附

2020年

1月の寄附金合計 19,200,919円

(内訳) 会員会費	2,259,077円
一般寄附	16,377,763円
指定寄附	564,079円

募金箱回収ありがとうございました

募金箱回収してくださった方(順不同、敬称略) ※法人名、団体名は2019年4月現在のものです。

- 「鳥良商店」藤西口店
- 「きずなすし」秋葉原店
- 「あおぞら整骨院」鶴ヶ峰院
- ワタミ株式会社 本社
- 「ワタミの宅食」横浜南営業所
- 「ミライザカ」博多駅前店 「三代目 鳥メロ」浜松有楽街店
- 「和民」浅草雷門店、大鳥居店 「にくスタ」千葉都賀店

募金箱の回収は、郵便局や銀行での振込みまたは、SAJ事務局へのご持参にて承ります。

今後の予定

2月25日

理事評議員会

これまでの実績

いただいた寄附金の累計額
(2001年度～2018年度)



28億

9,196万2,003円

建設した学校の合計
(2001年度～2018年度)



288校

現在、SAJの建設した
学校で授業を
受けている児童・生徒の人数
(2019年3月現在)



93,226人

ふれあいサポートプランで
文房具や制服を受け取った
児童数の累計
(2003年度～2018年度)



13,427人

SAJの建設した学校で
お米を受け取った
児童数の累計
(2006年度～2018年度)



9,515人

SAJの建設した学校で
朝給食を支給された
児童数の累計
(2006年度～2018年度)



108,385人

編集後記

2001年からスタートしたSAJの活動が20周年を迎えました。「夢追う子どもたちの家」の卒園生たちが大学生や社会人になり、結婚して子育てをしている卒園生も増えました。支援を受けることが当たり前ではなく、自国のために活躍できる卒園生が増えることを願います。

公益財団法人 School Aid Japan
本部 〒144-0043 東京都大田区羽田1-1-3
TEL: 03-5737-2773
FAX: 03-5737-2793
Eメール: sajinfo@schoolaidjapan.or.jp
http://www.schoolaidjapan.or.jp